

病院見学を随時受け付けています。

<http://www.oitasekijyuji.jp/>

詳しくは公式HPをご覧ください。

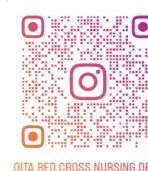
大分赤十字病院

検索



\ follow me! /

公式Instagramで情報発信中!
@oita.red.cross.nursing.dept



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大分赤十字病院

〒870-0033 大分県大分市千代町3丁目2番37号 TEL 097-532-6181 FAX 097-533-1207 <http://www.oitasekijyuji.jp/>
医療連携・患者支援センター 097-540-6167(直通)

HOSPITALITY

—— 気持ちで届けるもてなしのこころ。 ——

看護 師

Nursing Department



日本赤十字社 大分赤十字病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

HOSPITALITY

—— 気持ちで届けるもてなしのこころ。 ——

〔大分赤十字病院の理念〕—— an idea

人道・博愛の精神に基づく
心のこもった医療・看護を提供し
全ての人々の幸福を追求します

〔私たちの使命〕—— a mission

救急・災害医療、がんの診療、生活習慣病
における急性期診療において
最善の医療を提供します

すべての人々と手を携えて。

働くこと
看護師として
大分赤十字病院の



赤十字社は世界各地において有事・平時における医療に貢献しています。大分赤十字病院の看護師は日本赤十字社の看護師としての使命感を持って働いています。赤十字精神である『人道・博愛・奉仕の実践』を大切に、素晴らしい先輩方と一緒に当院で働いてみませんか。

看護師になってからが第一歩の始まりです。看護教育システムも充実している当院で高いレベルの看護師を目指して欲しいと思っています。

院長 / 福澤 謙吾

看護部

Nursing Department

患者さんは
「チームメイト」。
看護の実践家としての
誇りを持つて。

当院の特徴

当院は大分市の中心部にある340床の急性期病院です。看護体制は、大分赤十字病院版PNSをとりいれ、相互に学びあえる環境をつくっています。また、ワークライフバランスを推進しています。

赤十字病院の職員として救急法・水上安全法・健康生活支援などの講習指導員として、地域の人たちと交流を持つことも可能です。また、専門・認定看護師や国際救済要員などキャリアアップの支援も惜しみません。また、災害の場で活動できるよう救護員看護師の育成も行っています。いろいろと自分の可能性にチャレンジできる病院です。

教育体制は、赤十字施設の看護師キャリア開発ラダーにそって、研修を計画しています。

新人支援はプリセプターシップをとり、新人看護師が相談しやすい環境を作っています。

訪問看護ステーションが併設されているのも特徴です。訪問看護は24時間体制で対応しています。

看護部の理念

an idea of Nursing Department

私たちは「人道」に基づき、かけがえない個人を尊重した看護を行います。

私たちは「看護の実践家」としての誇りを持ち、自分たちの目指す看護を実践します。

私たちは自分を含め、全ての人々を大切にし、「今、ここに」自分の持てる力を精一杯だすように努力します。

私たちは、個人を活かし「組織」を大切にします。

私たちは、行ってきた看護を、研究を通して振り返り今後の看護に生かします。

私たちは、赤十字の使命に基づき、災害に備え、知識・技術を磨きます。

message from

皆さんへのメッセージ

当院は地域の中核病院として「地域に信頼され、選ばれる病院」を目指しています。地域で生活する患者さんやご家族を支援するため、医療連携・患者支援センターを中心に、併設の訪問看護ステーションと連携をとり、外来・病棟・地域を結ぶ切れ目のない看護を実践しています。

看護部の基本方針は「患者・家族の安全・安心・安楽の追求」「職員の安全・安心・安楽の追求」です。人間の尊厳を守り、患者・家族、職員の安楽を追求する基本方針を堅守しながら、時代に即応した質の高い看護の提供に取り組んでいきます。そのために、職員1人ひとりが「人財」として成長し、自身の役割を自覚し、持てる力を精一杯発揮できるように、キャリア支援、ワークライフバランスの推進に取り組んでいます。1人ひとりが、やりがいをもって生き生きと働き続けることができる、そして看護の喜びを感じ、輝き続けることができるよう支援していきたいと考えています。

看護部長 / 横井 直美

充実した研修制度

看護師教育や研修制度の充実を図ることで人材育成に力を入れています。キャリア開発ラダーやプリセプターによる新人教育などがあり、看護師一人ひとりの能力やキャリアビジョンに応じてスキルアップをすることができます。

ワークライフバランス

仕事と私生活の調和を取りながら、能力を十分に発揮できるような職場の環境作りを進めています。多くの看護師が利用している育・産休制度は、最長3年まで取得することができます。復職後は、短時間勤務制度により、家庭の状況に合わせ柔軟に働くことが可能です。

パートナーシップナーシングシステム（PNS）

看護の質を向上させるために、看護師が2人1組になって、良きパートナーとして、対等な立場でお互いに補完し合って看護を行うPNSを採用しています。

所属師長を中心とするグループを形成し、個人をパートナーが、パートナーをグループが補完するという「補完の三重構造」を形成し、更なる質の高い看護を目指します。



新人看護師の年間スケジュール

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
■経管栄養 ■採血・皮下・筋肉 ■静脈内注射 ■看護記録① ■食事介助(口腔清潔) ■排泄・スキンケア ■新採用オリエンテーション(・感染防止・災害時の対応)	■吸入・吸引 ■ピアカンファ	■インスリン・血糖値測定 ■輸液・シリンジポンプ ■薬剤について ■メンタルヘルス ■輸血について ■看護記録②	■看護記録③ ■看護を語る① ■赤十字基礎講習 ■急変時の対応	■滅菌室見学 ■1日研修(がん看護・褥瘡・フィジカルアセスメントなど)	■認知症の理解と看護 ■多重課題 ■看護倫理(赤十字の原則を含む)	■ピアカンファレンス	■看護を語る② ■赤十字について	■訪問看護(同行訪問) ■グローバルヘルス	■看護を語る③	■メンタルヘルス	■看護場面の振り返り(場面発表) ■ひなまつり
 新入職員の印 黄色いリボン付け(4月)	 スポーツ大会(5月)	 すずらん贈呈式(6月)						 キャンドルサービス(12月)			

教育体制

Educational system

赤十字施設の看護師キャリア開発ラダー全体構造図

	実践者	管理者	国際	教員
V	病院単位で活躍できる者	管理Ⅳ	国際Ⅳ	教員Ⅳ
		管理Ⅲ	国際Ⅲ	教員Ⅲ
IV	看護部単位で活躍できる者	管理Ⅱ	国際Ⅱ	教員Ⅱ
		管理Ⅰ	国際Ⅰ	教員Ⅰ
Ⅲ	病棟単位で活動できる者 リーダー			
Ⅱ	自立して看護活動ができる者（病棟内）			
I	指導や助言を得ながら看護活動ができる者			

キャリア開発ラダーってなに？

ナースの人材育成、キャリアアップを支援するシステムのことです。

適正や能力、経験などを考慮したきめ細やかな研修プログラムを構築しており、段階的に設定された到達目標に向かって確実にステップアップしていくことが可能です。

大分赤十字病院看護部はその人自身のキャリアを 考えることができるよう教育計画を立てています

赤十字施設の看護師キャリア開発ラダーに沿って、段階別に研修プログラムをくみ、研修をしています。特に、1～3年目は次の研修を行っています。

1年目：新人看護職員研修ガイドラインに沿って研修計画を立案
1年間通して研修を行います

2年目：2年目看護師は看護を語る研修を1年目に引き続き行っています。
同期同士で語る、通称ピアカンファレンスも行っています。

3年目：自身の看護を研究を通して振り返ることを目標に看護研究を行います。

赤十字看護師として災害の場で活躍できるよう
救護員看護師研修を行っています。

チーム医療

感染対策チーム（ICT）

病院のさまざまな感染症から患者・家族・職員を守るために活動しています。具体的には、病院内感染予防、職員教育、職員健康管理、感染症コンサルテーション、抗菌薬適正使用の指導など組織横断的に感染対策に従事しています。

呼吸サポートチーム（RST）

院内における呼吸療法が安全で効果的に行われるようにサポートするチームです。チームメンバーは専門の知識をもっている医師・看護師、臨床工学技士、理学療法士などで構成されています。人工呼吸器を装着した患者さんを対象に、早く人工呼吸器が不要となるように各方面からサポートします。

褥瘡対策チーム

栄養状態の悪い患者さんや活動量が少なく長期臥床の患者さんなど褥瘡発生リスクの高い患者さんの褥瘡発生予防や、褥瘡保有者の重症化防止・早期治癒に向けて活動します。メンバーはWOCを中心に医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などで構成されています。

栄養サポートチーム（NST）

低栄養など栄養管理の必要な患者さんに対して、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師、歯科衛生士など多職種が連携して患者さんにとって最良の栄養管理を検討しサポートするチームです。

緩和ケアチーム

がんの診断の時期から、患者さんやそのご家族に対し、痛みやその他の身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな問題などに対し、苦痛を予防あるいは軽減するためのサポートを行います。

高齢者サポートチーム

高齢者やそのご家族が安心して適切な医療・看護を受けられるように、多職種が協働して療養上の問題解決に向け取り組んでいます。

患者さんの
気持ちを考える。

スペシャリストとして

ワークライフバランス

老若男女すべての職員がやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすと同時に、子育てや介護、家庭、社会貢献、自己啓発などの個人の時間を持ち、健康で豊かな生活を送れるよう支援します。

育・産休制度などの利用者が増加している中、仕事と私生活の調和を取りながら、能力を十分に発揮できるような職場の環境作りを進めています。

〔制度の一例〕

産前産後休暇 —— 出産予定日の7週間前から出産後8週間まで
育児休暇 —— 子どもが3歳になる日まで
育児短時間勤務 —— 子どもが6歳になった後の最初の3月31日まで
介護休暇 —— 通算186日
ボランティア休暇 —— 年5日以内
有休休暇、男性看護師の会（通称メンズの会）でリフレッシュ など



日本赤十字社は、厚生労働省から次世代育成支援対策推進法に基づき、職員の子育て支援に取り組む企業として2009年と2012年に認定を受け、認定マーク「くるみん」を取得しました。

クラブ活動

大分赤十字病院では12の部活動やクラブがあり、職種や年齢に関係なく、多くの職員が交流を深めています。

また、毎年5月に行われる九州ブロックの赤十字施設が参加するスポーツ大会にも出場しています。

〔クラブ一覧〕12クラブ

■野球部 ■駅伝部 ■卓球部 ■英会話クラブ
■ソフト部 ■ゴルフ部 ■フットサル部 ■自転車部
■テニス部 ■バスケット部 ■バレー部 ■ヨガ部



赤十字の大きな使命
それは、災害救護です

災害救護活動

赤十字の理念「人道」に基づいた赤十字活動の一翼を担うのが災害救護活動です。

救護活動と一言で言っても、医療活動だけでなく、被災された方々への心のケアや救援物資の配布等、様々な活動があり、柔軟性が求められます。予測出来ない災害だからこそ常日頃からの訓練が大切です。

大分赤十字病院では救護員研修があり、災害救護に必要なスキル等を学んだ上で救護員として登録されます。災害現場で救護活動を遂行することは身体的・精神的にも大変な任務ですが、とてもやり甲斐があります。

また、活動現場では全国の赤十字施設から救護員が派遣されており、赤十字ならではのネットワークの強みを感じることが出来ます。

看護師 処遇			
給 与	大学卒	230,800円(通勤手当・住居手当等 別途支給)	
	短大(専門学校)3卒	225,800円(通勤手当・住居手当等 別途支給)	
	短大(専門学校)2卒	218,800円(通勤手当・住居手当等 別途支給)	
	※令和6年度実績		
勤務時間	週38時間45分		
休 暇	土・日、国民の祝日、夏季休暇、年末年始休暇、日赤創立記念日、年次有給休暇、そのほか特別休暇制度あり		

福利厚生

社会保険 —— 健康保険、厚生年金、企業年金基金、雇用保険、労災保険
各種見舞金 —— 結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金など
生命保険 —— グループ保険、総合医療保険、積立年金
住宅金融資産 —— など



アクセス

大分交通バス

JR大分駅前から新川経由行きに乗車
「日赤病院入口」下車→徒歩3分

タクシー

JR大分駅前から約5分(2km)